

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

一つのアンケート調査

服部 学

二年ほど前から、小川岩雄先生の後を引きついで、立教大学で核問題概論という講義をしている。これは、一般教育での自然・社会共通講座で「核問題」を中心に行っている。私は広い意味での平和教育の一環であると考えており、昨年の講義でとりあげたテーマは、核分裂の発見からはじまって、原子爆弾の開発と広島・長崎の被害、その後の核兵器体系と核戦略の発達および現状、核戦争の効果、核軍縮交渉、軍縮と開発、日本の核問題、核兵器廃絶運動などである。さらに原子力発電とその安全性、エネルギー資源問題等もとりあげている。この単位をとると就職のときに不利だという噂が流れているのだそうだが、けっこう多くの受講者があり、半分くらいは非常に熱心にきいてくれる。私としてはやはり甲斐のある講義であり、情熱をつぎこんでいるつもりである。

四月の最初の講義のときに、学生諸君が核に関する問題についての程度の知識と意識を持っているかを知るために、基礎調査アンケートを行なった。この結果はなかなかおもしろい。昨年の例でいうと、「一九七九年三

月、アメリカの()原子力発電所で、また一九八六年四月、ソ連の()原子力発電所で、原子炉の事故が発生した」という設問では、回答者二二六名のうちで、スリーマイル島の方は正解あるいはそれに近い名前(スマイル島など)をあげたのが七五名、なんとビキニが一名、回答なしが一三六名だったが、チェルノブイリの方は正解あるいはそれに近いのが二一〇名、回答なし一五名であった。

ところで、「()年()月()日、太平洋の()環境で、アメリカは最初の本格的()の爆発実験を行った。このさい、一五〇キロメートルほど離れた海域で操業していた日本の()丸は、大量の放射能を含んだ死の灰をあげた」という設問では、一九五四年三月一日を正確に答えたのはたった四人しかいなかった。回答なしが一七二名、残りは一九四四年十二月八日から八三年八月まで幅広くちらばっていた。それでもビキニの名前は一八九名が知っていた。回答なしが三二名、なんとパールハーバーが一人いた。水素爆弾あるいは水爆も一四七名が知っており、四四名が回答なしだった。

第五福竜丸については正解が一三二名、その他第五ふくりゅう丸、大五福竜丸、第五福留丸、第五福柳丸が各一名、第二福竜丸が七名、第三福竜丸が二名、その他福竜丸、福留丸、副柳丸などがあつた。第二富士山丸、第三富士山丸、第?水川丸、あるいは宗谷を被災させた者もいた。回答なしは六八名だった。まあなんとか過半数は知っていたことになる。今年もまた同じようなアンケート調査をやって、昨年と比較してみたい。おもしろい結果が出たらまた報告したい。

講義の二回目では正解を教え、ついでに第五福竜丸展示館を見に行ったことのある者の手をあげさせてみたところ、数名しかいなかったのは少しがっかりした。もっとも、先生の前で目立つたことをするのはカッコ悪いというのが新人類諸君の新しい思考らしいから、手を上げなかった者が多少はいると思うが、それにしても少ない。修学旅行で広島や長崎の資料館を見てきた数の方がまだかなり多かった。

第五福竜丸展示館の見学者が百万人を超えたことはほんとうに嬉しい。でもまだ見たことのない人の方がはるかに多いのである。もっともっと多くの人に、とくに若い人たちに見に来てもらえように、私たちは一層の努力をしなければならぬと思う。

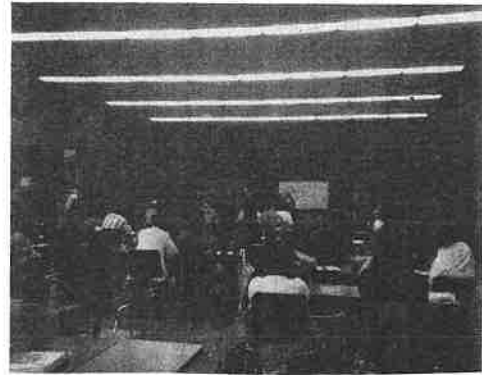
(立教大学教授・第五福竜丸平和協合理事)

三・一ビキニ事件記念集会ひらく

協会主催・柴田徳衛・猿橋勝子両氏記念講演

二月二十八日、協会主催の「三・一ビキニ事件記念集会」が、文京区民センターで開かれ、七〇名が参加しました。記念講演を猿橋勝子理事(第五福竜丸の放射性降下物)、柴田徳衛東京経済大学教授(第五福竜丸と私の内外でのかわり)がおこない、映画「とびうおのぼうや」はびょうきです」が上映されました。

柴田氏は、ビキニ事件当時、アメリカのインデペンデント・ソシアリスト・マガジン(54・6)に発



表した「日本における水爆の恐怖」にふれると共に、都の企画調整局長として第五福竜丸の保存に尽力したことを述べ感銘を与えました。

盲学校でビキニの集い

「ビキニの海は忘れないーみんなの力で核兵器をなくそう」と、埼玉県立盲学校の平和サークルが三月二十五日、県立川越女子高校で「ビキニ被爆を考える集い」をひ

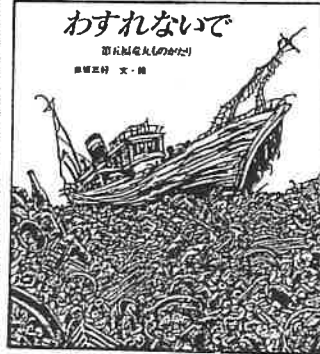
た構成詩「ビキニの海は忘れない」を朗読し、約百人の参加者から拍手をあげました。



らきました。集いでは、平和協合理事の小平岩雄氏が「核時代の不安と希望」と題し講演を行ない、平和サークルのメンバー全員で作

絵本「わすれないで」第五福竜丸ものがたり」発行

金の屋社より絵本「わすれないで」第五福竜丸ものがたり」が三月一日発行されました。銅版画家



として著名な赤坂三好さんが絵文を執筆。「ぼくの名まえは第五福竜丸。ぼくの話を書いてください」と、和歌山県古座で進水、水爆実験に被災し、その後夢の島に廃棄された船の半生が語りかけられる。たんねんに刻み込まれた鋭い線、大漁のよここびいっばいに青い海をゆく船、水爆の火球、降りそぐ死の灰、廃船のまま夢の島でむかえた四季...美しく力強い絵本だ。△協会推せん。定価千二百円、送料三一〇円、申し込みは協会へ▽

事業計画・予算決定

協合理事会

三月二十七日、協会の第87回理事會が東京・学士会館で開かれました。会務報告のあと①一九八九年度事業計画②同予算③評議員の充足④当面の活動計画について審議しました。展示館への来館者が急増している中で、展示内容の一層の充実をはかると共に、展示館の拡充・修理にかんする調査をすすめることとし、一定の調査予算も計上しました。評議員については候補者に会長から要請し次回理事會(五月二十二日予定)で決定すること、また、絵はがき「第五福竜丸」の完成を急ぐこと、六月十二日、協会設立記念祝賀会を松本楼でひらくことなどをきめました。

早春のギリシャに誘われて、第一回平和オリンピック会議(三月十三日(十八日)に行つて来ました。アンカレッジ経由、パリ乗り換え、アテネに二十二時間かかって到着しました。開会迄二日間の自由時間があり、エギナ島その他二島の見学と市内観光が出来ました。広島五名、東京二名、三重一名という代表団で女性は三名でした。この三日間で、初めて出発の時顔を合せた方達ですが親しくなりました。

十四日、デルフィーにバスを連ねて参加者全員移動し、開会式を行ないました。ギリシャ語で話されても解りません。昔、ロンドンでむずかしいこと、難解なことをギリシャ語だということ聞いたのを思い出しました。開会式の挨拶は英文で貰いました。奥入瀬に似たような景色もあり、野外博物館を見学してアテネに戻り、ユネスコ総長招待のレセプションに出席しました。翌十五日は総会演説が続く途中でパバンドレ首相の歓迎挨拶の辞もありました。仲々人

界大戦のさなかでしたから、時局に関する感想などは一切のせていません。小山書店の店主小山久二郎さんは、岩波書店の出身で、安倍能成先生の甥でした。小山書店は良心的な出版社として知られ、著者には小宮豊隆、安倍能成、佐藤春夫、三木清、下村湖人、林達夫らの諸先生がおられ、志賀直哉、里見淳、武者小路実篤の諸先生からも信用されてきました。

私も小山さんと気が合い、お互いに色々な相談をしていました。私はそのころ創立されたばかりの日本海洋学会の編集主任を託されていたので、小山書店に会誌の出版を頼みました。小山さんからは逆に、自然科学の進歩に関する叢書の編集をたのまれ、同僚の科学者を招いて、相談相手になつてもらいました。

第一回平和オリンピックに参加して

本多 喜美

のようにお見受けしました。議長団は五大大陸の代表で構成し、各演説は仲々哲学的でした。午後三時頃から各代表団から一名演説出来るので五分間の演説を用意したら急に三分間に短縮されました。十五名予定が二十七名となり、より多くの人へ時を分ち、不満をやらげ、協力し合うのもこの会の主旨に沿うものと思われました。平和と協調、各国、各民族の伝統、文化を尊重し合うことは新データに必要ながそれがこれに強調されて来ました。アジア、太平洋の代表達はこの会議はヨーロッパ中心になりがちだから大いに吹きこもうと張り切っていました。オーストラリアの女性の演説は太平洋の核実験、外国基地、先住民と人権に言及し、日本の演説の先にしてくれたので大いに賛成し、時間の節約になりました。「私達草の根の運動は、アメリカやフランスの草の根の人々と連携し、核実験や海外基地の撤去に協力して貰いましょう」といった事は大変印象的でした。十六日から分科会で、「平和と人権」に広島の高校教師と一

緒に出席しました。私は次の三年迄に何か参加者が一緒に出来る事はないかと考えて次のように発言しました。

「私はアクロポリスの神殿からアテネの風上げ(イースター)の前の子供のイベント)を見て、東京夢の島第五福竜丸展示館前のグラウンドで毎年一月十五日に行なう平和の風上げ大会を思い出しました。大変寒い朝ですが子供達が自家製の凧に、反核、平和等を書きこんで、一生懸命走り廻り凧を上げるのです。私はいつか海外の子供達との平和の風上げ大会を開催したいと思つていましたが、此処へ来てその可能性のあることに自信が持てるようになりました。日本の子供は二十才になると選挙権を持ち、その内祝に成人式を行ないます。その時、風上げ大会に参加した子供達が平和のために、二十一世紀の平和擁護のために、新しい運動を作る決意をするだろうと思ふのです。子供こそ二十一世紀を担う人達です。二十世紀に開発された核兵器をこの世紀末迄に廃絶する責任と義務を大人達は痛感し実践しなければなりません。二月十一日、第五福竜丸展示館参観者が百万人を越えました。展示館の拡張、発展の為に新しい決意で尽

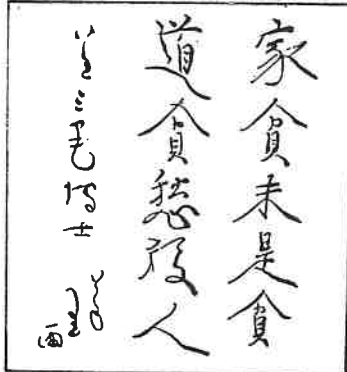
平和随想 27

三宅 泰雄



私かはじめに自分の著書を出版してもらったのは、今から四十六年前の一九四三年のことでした。出版社は小山書店、書名は「黒潮」定価二円八十銭でした。当時、私が研究の対象としていた黒潮海域に関する解説、各地での観測紀行、随筆などを集めたものでした。世

小宮豊隆氏の書



小山書店の店主小山久二郎さんは、岩波書店の出身で、安倍能成先生の甥でした。小山書店は良心的な出版社として知られ、著者には小宮豊隆、安倍能成、佐藤春夫、三木清、下村湖人、林達夫らの諸先生がおられ、志賀直哉、里見淳、武者小路実篤の諸先生からも信用されてきました。

生もお見えになり、喧々ごうごうたる意見がかわされました。先生たちは時勢を憂え、一日も早い平和の到来をまちのぞんでいました。私はそのころ、小宮先生から、自筆の書を頂きました。それには「家貧未是貧、道負愁殺人」とありました。「家の貧は、まだほんとうの貧ではない。天下の大道が貧なれば、人々を嘆き悲しませる。まさに当時の心ある人の、嘆きと怒りを表現したものでした。」

と、中学生には過ぎたツァイスのレンズ付きの高級品を買って与えた」とありました。

実はその顕微鏡は、小山さんに頼まれて、私が研究室に入りの器械商から買う世話をしたのでした。

阿川さんによれば、成人した直吉さんは、後の福子夫人とのデートのため、「上等の顕微鏡も、昔、網野菊さんからもらった五月人形も、金目のものは、みんな売り払ってしまった」とありました。私はお世話した顕微鏡が、直吉さんのお役に立ったことを知り、一人で笑ってしまいました。

その小山書店は、戦後「チャタレイ夫人の恋人」の訳書(訳者・伊藤整氏)が、わいせつ文書とされ、裁判に持ち込まれる不運に出会いました。そのときの公判で小山さんが「当書店は日本海洋学会誌なども出している手がつたい書店です」と弁明していることを知り、何とか無罪にと念じていました。文壇もあげて応援していましたが、結局、訳者とともに罰金刑を課せられました。そのあと、出版の見込みがいで、負債がかさみ、不幸にも、ついに閉社となったことは、私にとって、かえすがえすも残念なことでした。